

2. 現況の実態調査

2-1. 大磯駅周辺の現況

2-1-1. 大磯駅周辺の特性

①大磯駅周辺は生活利便施設の集まるまちの拠点

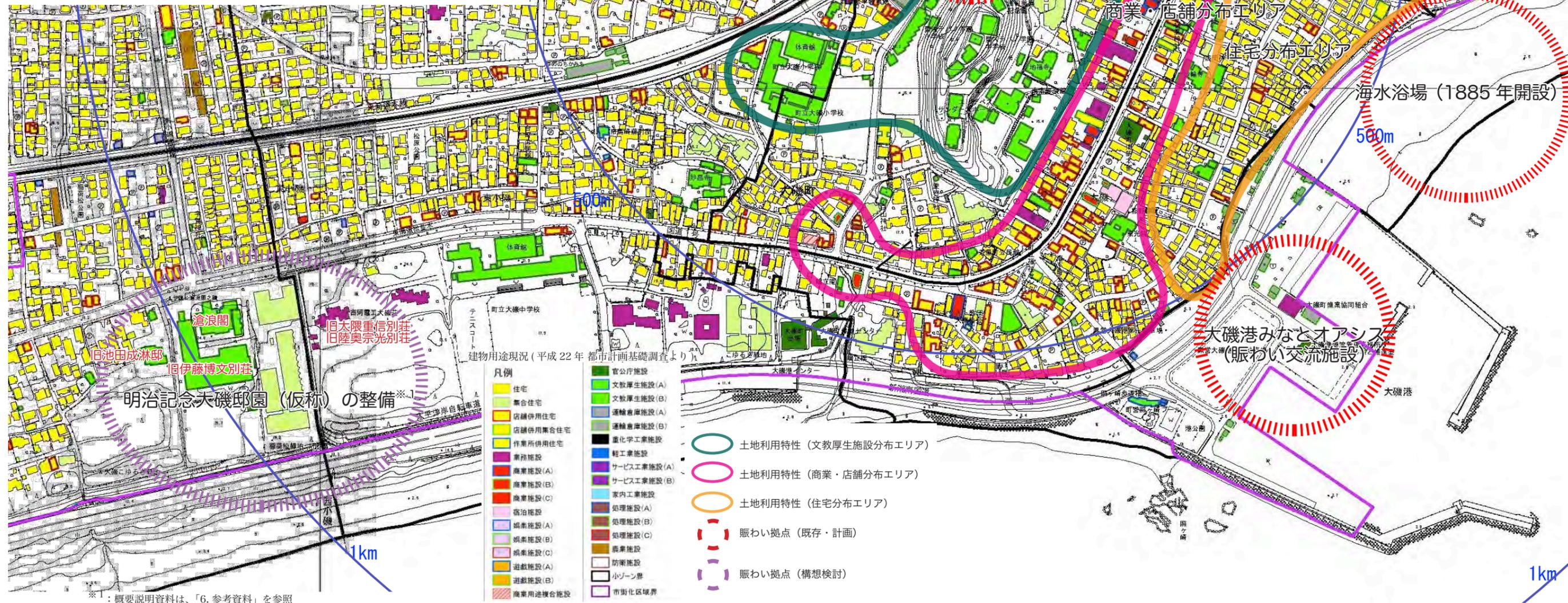
- ・駅前一帯は、教育施設や社寺仏閣等（文教厚生施設）が多く、豊かな自然、歴史や文化が継承された落ち着いたあるたたずまいである。
- ・国道1号沿いに店舗併用住宅と商業施設、官公庁の施設が分布し、生活利便性の高い施設が多く分布する。
- ・海側はかつて旧東海道の宿場で、細街路が多く住宅が分布している。

②丘陵地に囲まれた駅前広場

- ・丘陵地に囲まれた駅前広場のため、店舗の立地、広場や道路などの空間利用が制約されている。一方で丘陵地の緑、駅舎や大磯駅前洋館（旧木下家別荘）などが残り、大正期より変わらぬ趣がある。

③駅から1km圏内徒歩圏に形成される新たなにぎわい拠点

- ・駅から約500mの海岸沿いに、海水浴場（1885年開設）が設置されている他、大磯港みなとオアシスの整備計画がある。
- ・さらに駅から約1kmに位置する旧伊藤博文邸（滄浪閣）などが、明治記念大磯邸園（仮称）として一体的に整備活用する構想が検討されている。



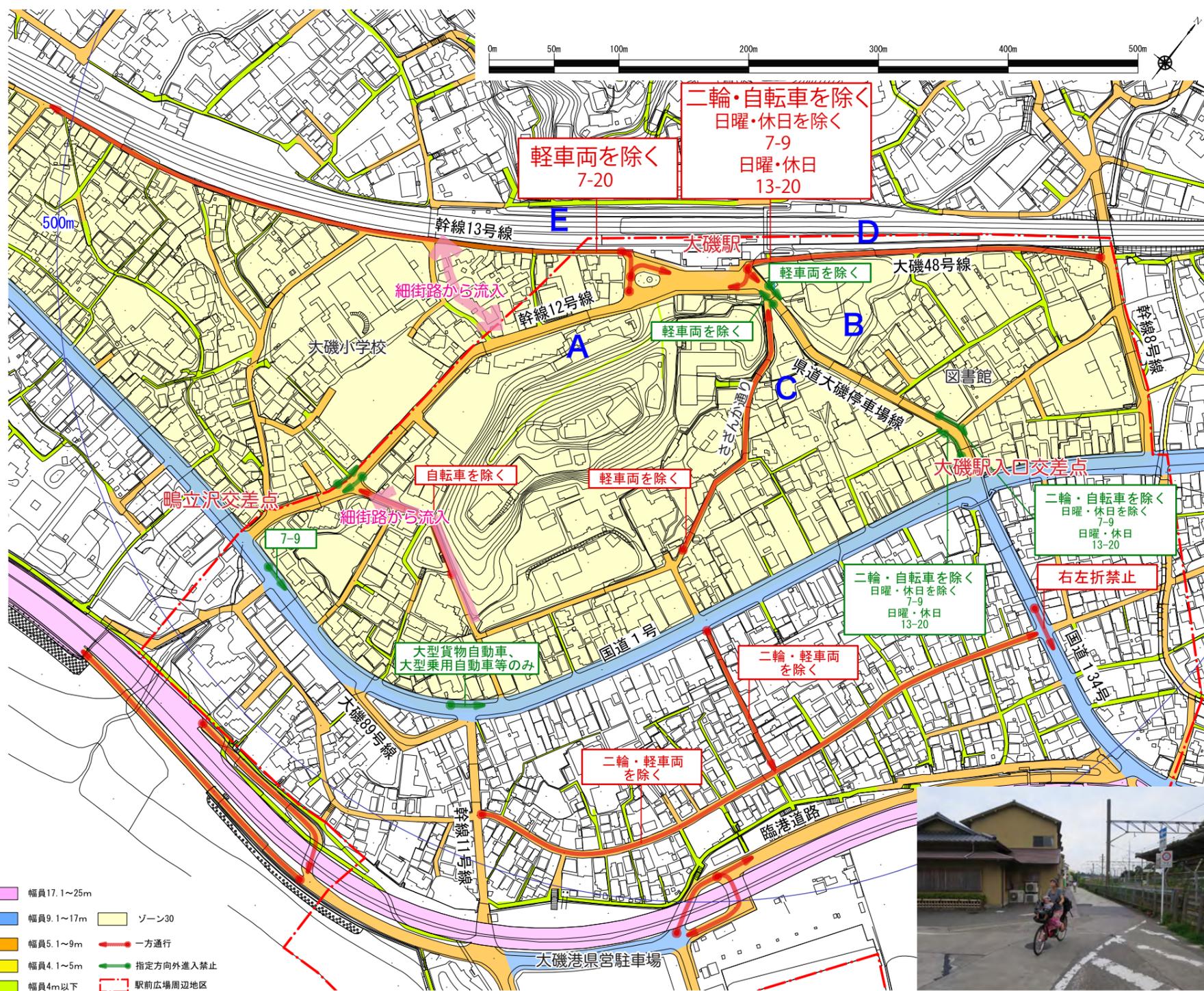
2-1-2. 道路の交通規制、幅員の状況

- 大磯駅前広場に接続する道路の規制は、幹線13号線は駅前広場から流出方向に、大磯48号線とさざんか通りは駅前広場へ流入方向に条件付きの一方通行となっている。
- 全域で、幅員4m以下の細い道路が入り込んでいる。車両のすれ違いが難しい道路の一部で、一方通行や指定方向外進入禁止の規制がされており、袋小路も多い。
- 大磯駅周辺の東海道線と国道1号の間の道路は「ゾーン30※1」に設定されており、制限速度が時速30kmとなっている。

※1：抜け道利用や自動車の走行速度を抑制することで、歩行者等の安全を確保することを目的として、神奈川県警察が住宅地域等をゾーンとして区域設定したものの。

番号	名称	管理者	現況断面図 ◆代表地の道路横断面図のため部分的に道路幅員や幅員構成が異なります。
—	大磯駅前広場	大磯町	
①	国道1号	国土交通省	
②	国道134号	神奈川県	
③	県道大磯停車場線	神奈川県	
④	臨港道路	神奈川県	
⑤	幹線8号線	大磯町	
⑥	幹線12号線	大磯町	
⑦	大磯48号線	大磯町	
⑧	幹線11号線	大磯町	
⑨	大磯89号線	大磯町	

出典：大磯駅バリアフリー基本構想（平成23年3月大磯町）



幅員17.1~25m
 幅員9.1~17m ゾーン30
 幅員5.1~9m 一方通行
 幅員4.1~5m 指定方向外進入禁止
 幅員4m以下 駅前広場周辺地区



E. 幹線13号線



A. 幹線12号線



B. 県道大磯停車場線



C. さざんか通り



D. 大磯48号線

2-1-3. 道路の利用や沿道の状況

- ・大磯駅への主要動線である県道大磯停車場線と幹線 12 号線は歩道が狭い。
- ・大磯駅前から地福寺に続くさざんか通りは、車の交通量が少なく駅と港をつなぐ散策路として歩きやすい。
- ・港沿いから 1 本山側に入った通りは、宿場町の雰囲気を残し、松や神社、道祖神、蔵が点在している。



① 駅と国道 1 号をつなぐ県道大磯停車場線坂道でカーブしており、歩道が狭い。バスの走行は中央線をはみ出している。



② 大磯駅入口交差点の様子
歩道橋があるが、平成 10 年に横断歩道・自転車横断帯が設置された。



③ さざんか通り
舗装はブロック敷で整備され、通り沿いには風情ある建物が多い。
写真方向へ一方通行のため車通りは少ない。



④ 愛宕神社脇の切り通し
岩肌剥き出しの壁に挟まれた特徴的な空間となっている。写真方向へ一方通行



⑤ 駅と国道 1 号をつなぐ幹線 12 号線
小学校前から駅までは、聖ステパノ学園側歩道のみにはガードレールが設置されている。



⑥ 鴨立沢交差点の様子



⑦ 通りの所々に植えられている松
宿場町の名残を感じることができる。



⑧ 国道 1 号から港へ向かう路地
国道 1 号北側のさざんか通りからの連続性がない。



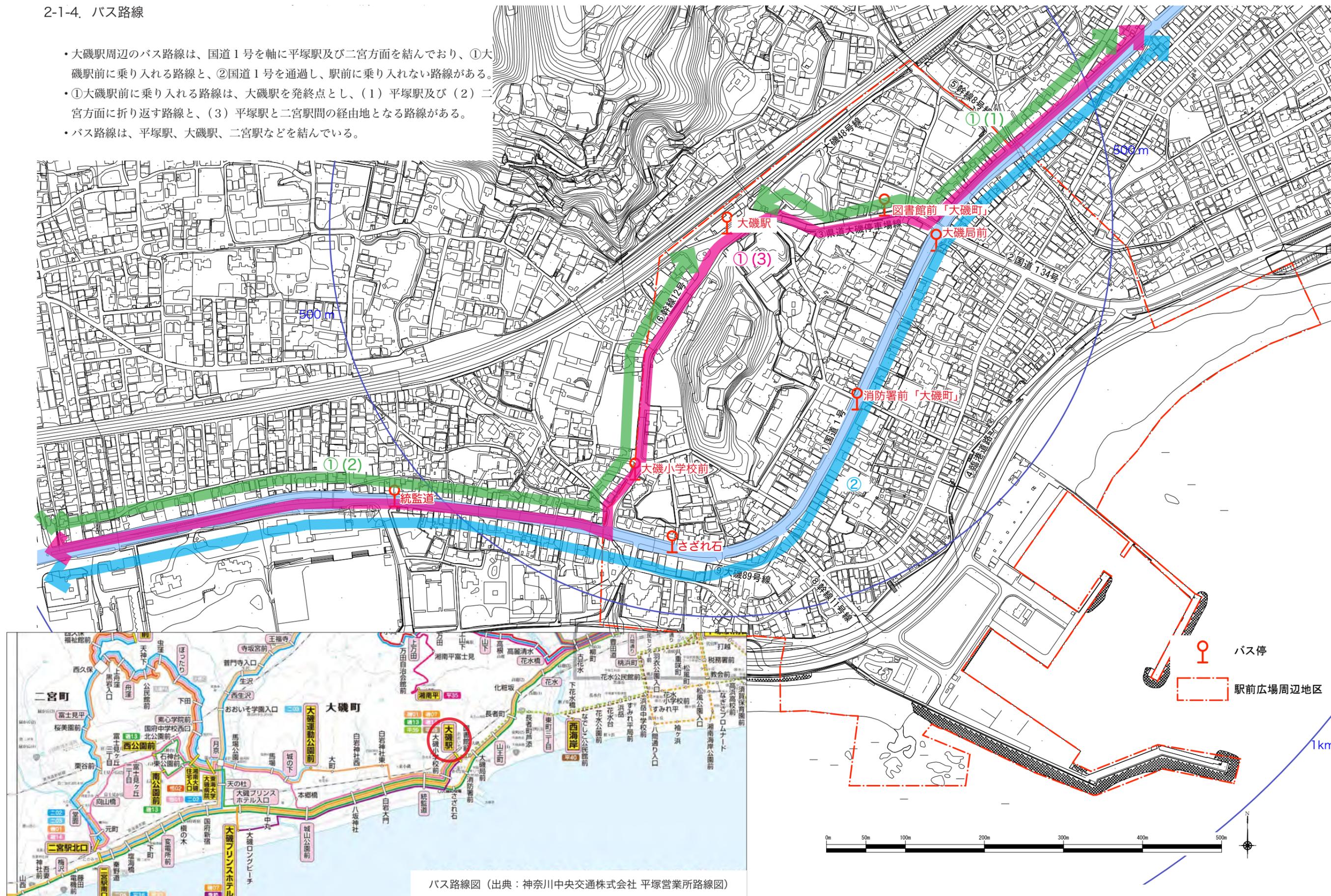
⑨ 熊野神社の参道
通りの所々で神社や古い蔵が見られる。



⑩ 避難経路
大磯港の第 1 駐車場からの避難経路が階段となっている。

2-1-4. バス路線

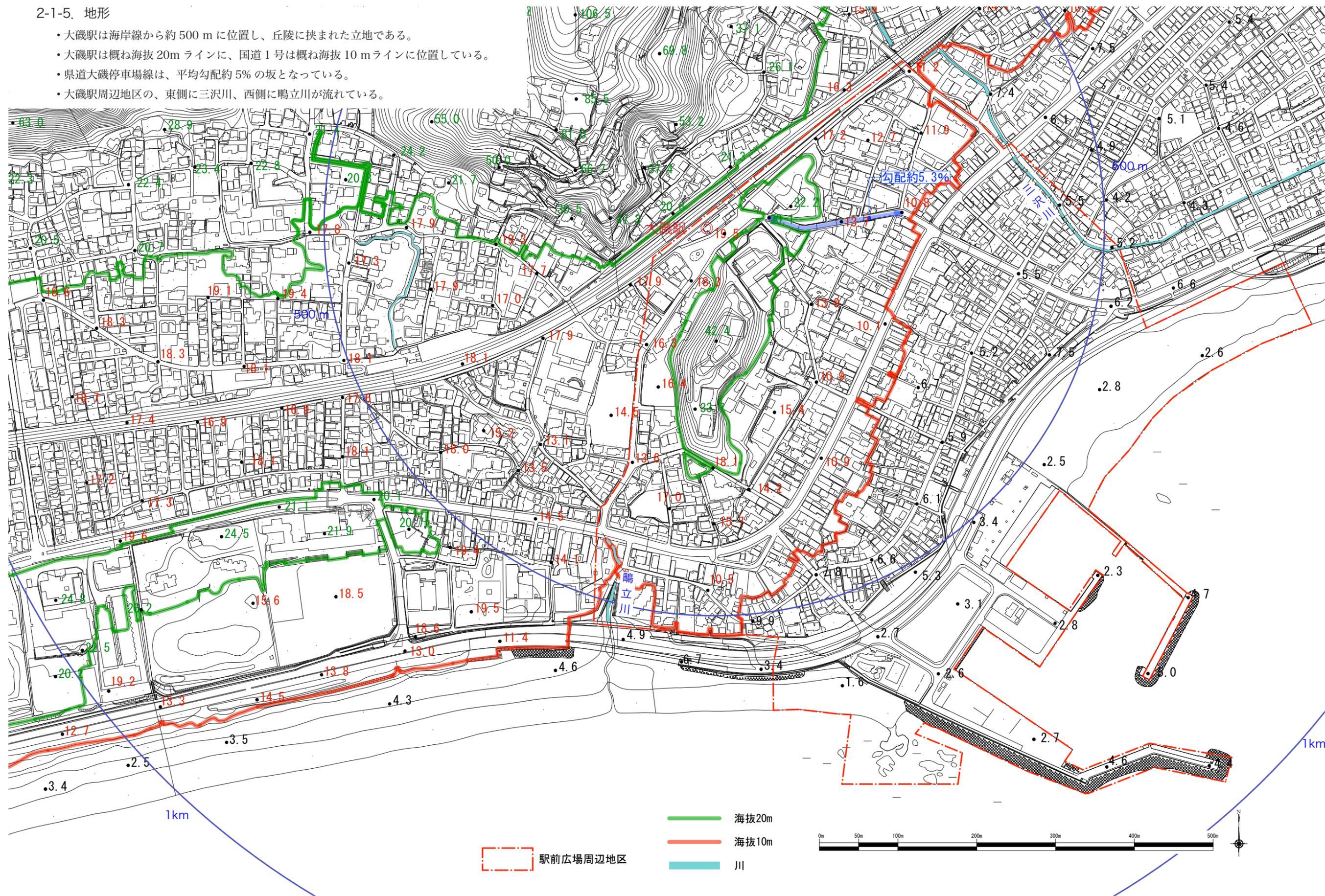
- 大磯駅周辺のバス路線は、国道1号を軸に平塚駅及び二宮方面を結んでおり、①大磯駅前に乗り入れる路線と、②国道1号を通過し、駅前に乗り入れない路線がある。
- ①大磯駅前に乗り入れる路線は、大磯駅を発着点とし、(1)平塚駅及び(2)二宮方面に折り返す路線と、(3)平塚駅と二宮駅間の経由地となる路線がある。
- バス路線は、平塚駅、大磯駅、二宮駅などを結んでいる。



バス路線図（出典：神奈川中央交通株式会社 平塚営業所路線図）

2-1-5. 地形

- ・大磯駅は海岸線から約 500 m に位置し、丘陵に挟まれた立地である。
- ・大磯駅は概ね海拔 20m ラインに、国道 1 号は概ね海拔 10 m ラインに位置している。
- ・県道大磯停車場線は、平均勾配約 5% の坂となっている。
- ・大磯駅周辺地区の、東側に三沢川、西側に鳴立川が流れている。

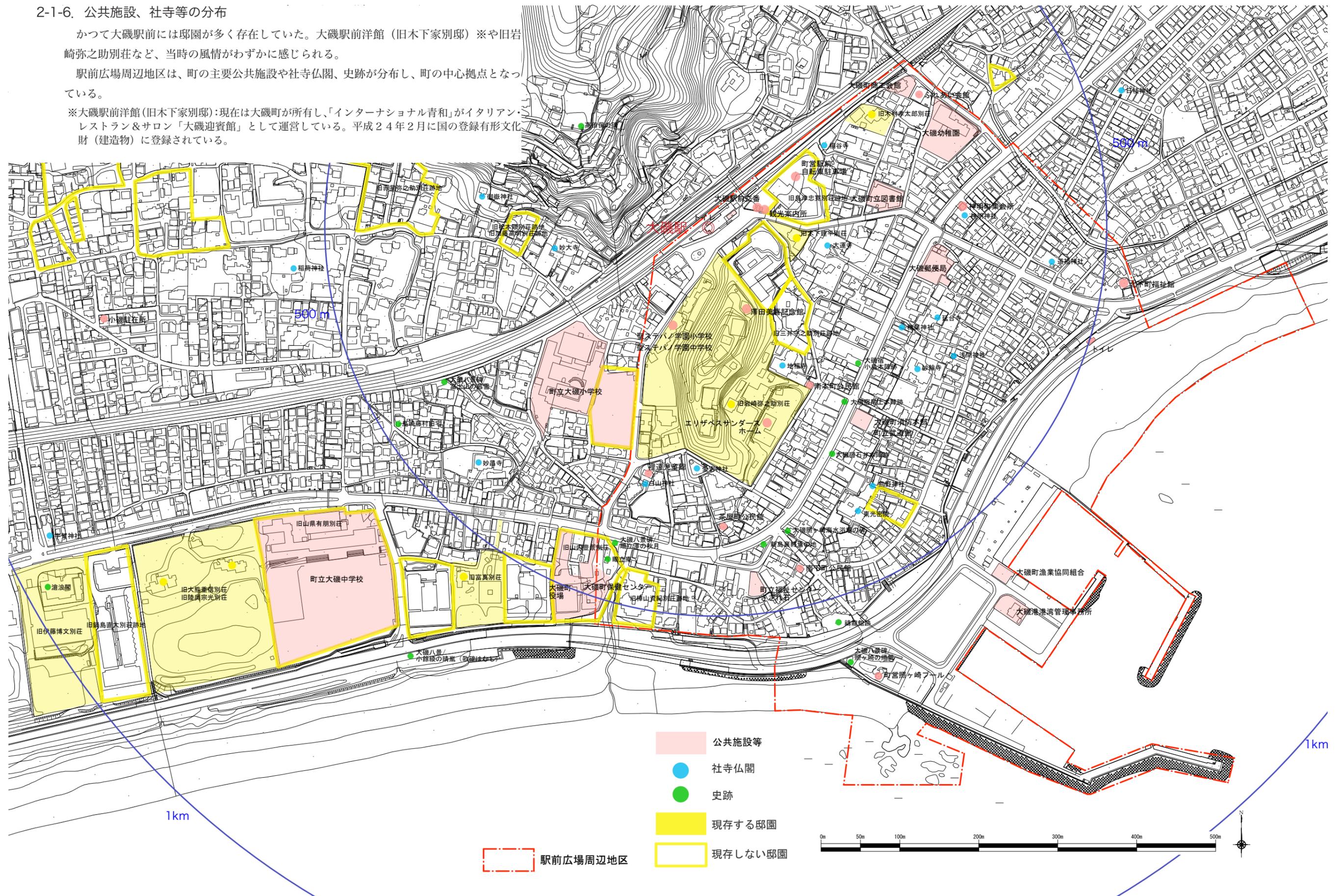


2-1-6. 公共施設、社寺等の分布

かつて大磯駅前には邸園が多く存在していた。大磯駅前洋館（旧木下家別邸）※や旧岩崎弥之助別荘など、当時の風情がわずかに感じられる。

駅前広場周辺地区は、町の主要公共施設や社寺仏閣、史跡が分布し、町の中心拠点となっている。

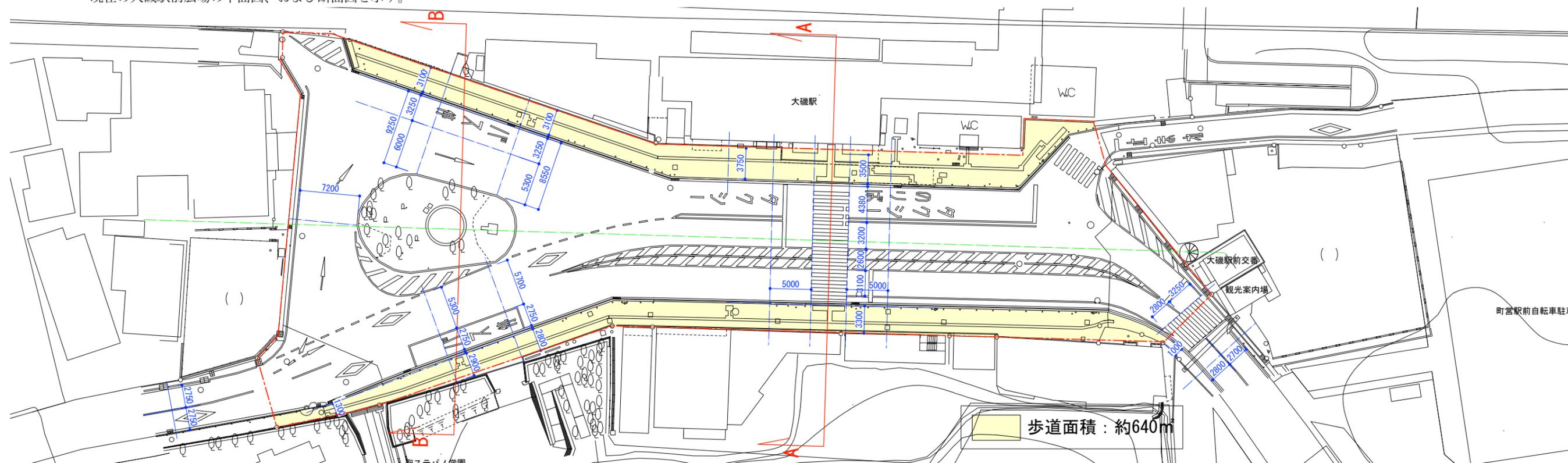
※大磯駅前洋館（旧木下家別邸）：現在は大磯町が所有し、「インターナショナル青和」がイタリアン・レストラン&サロン「大磯迎賓館」として運営している。平成24年2月に国の登録有形文化財（建造物）に登録されている。



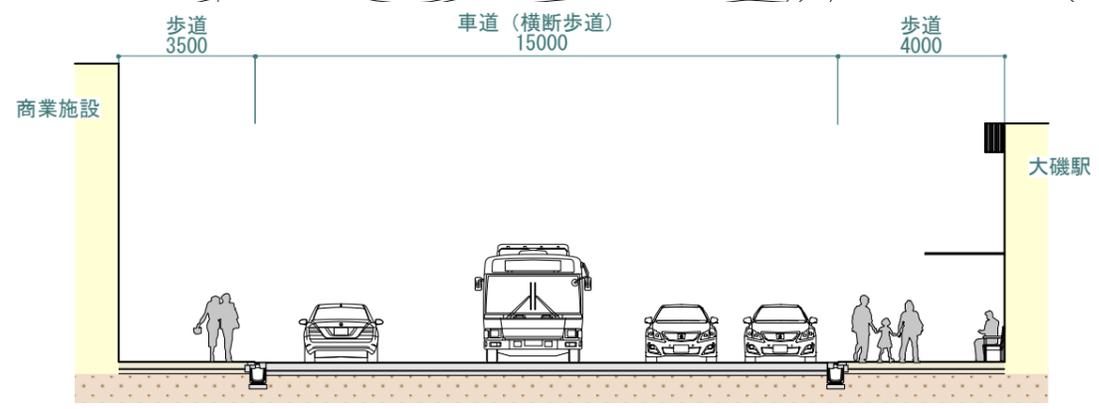
2-2. 駅前広場の現況

2-2-1. 現況図

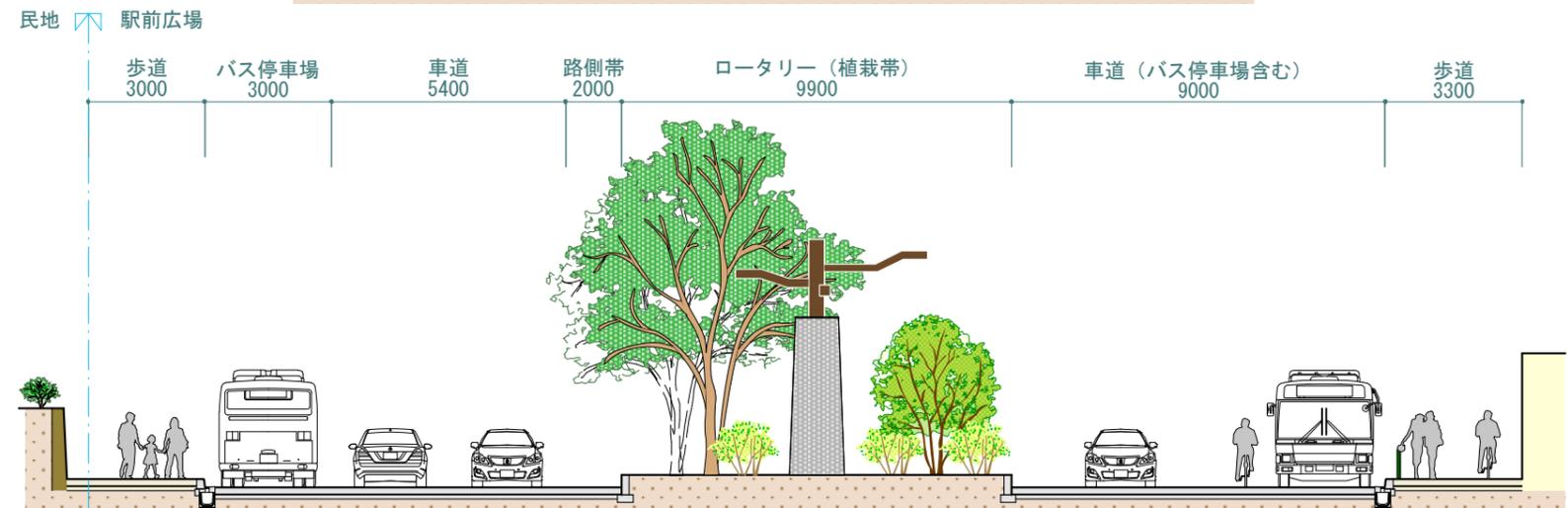
現在の大磯駅前広場の平面図、および断面図を示す。



A 断面



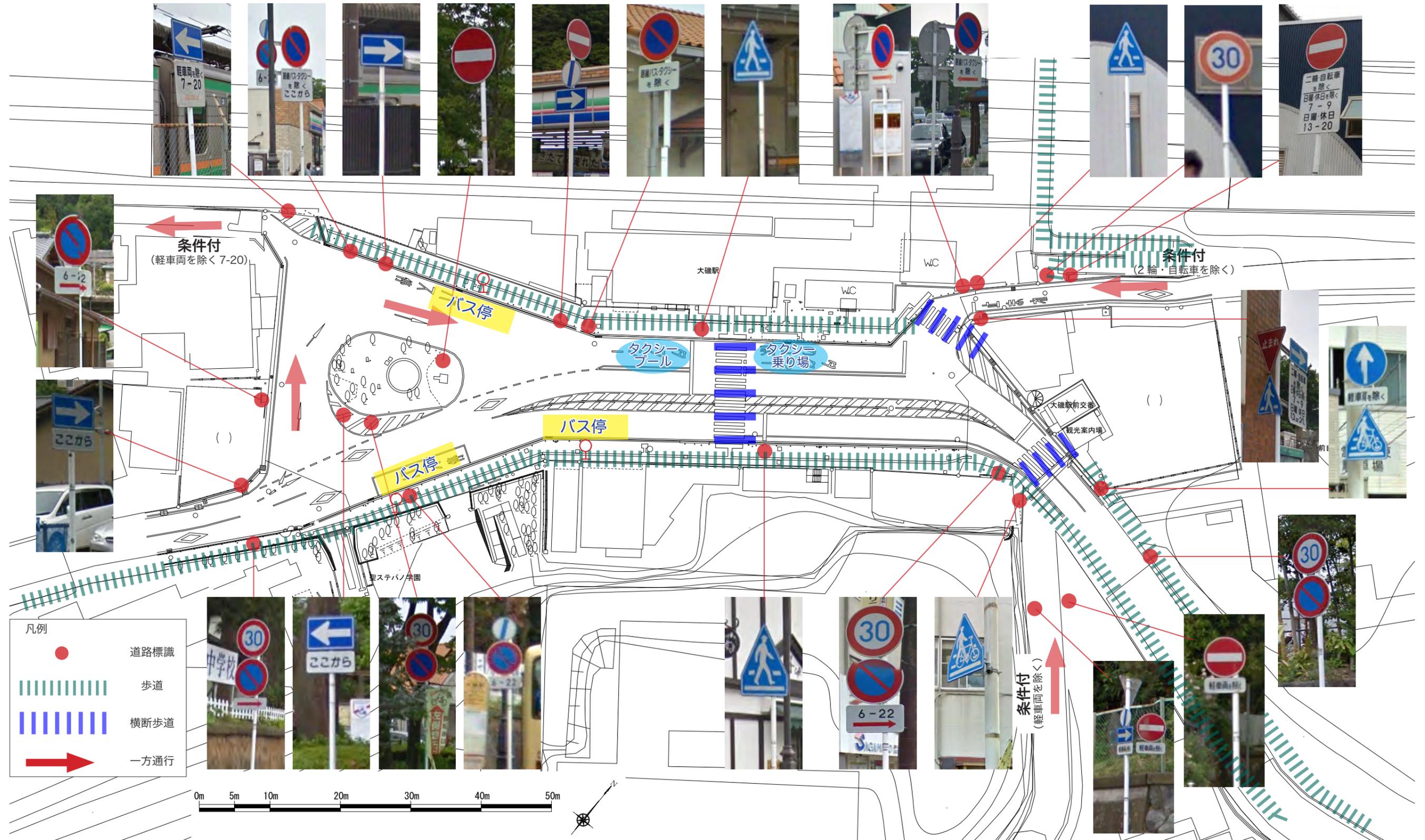
B 断面



2-2-2. 交通規制状況

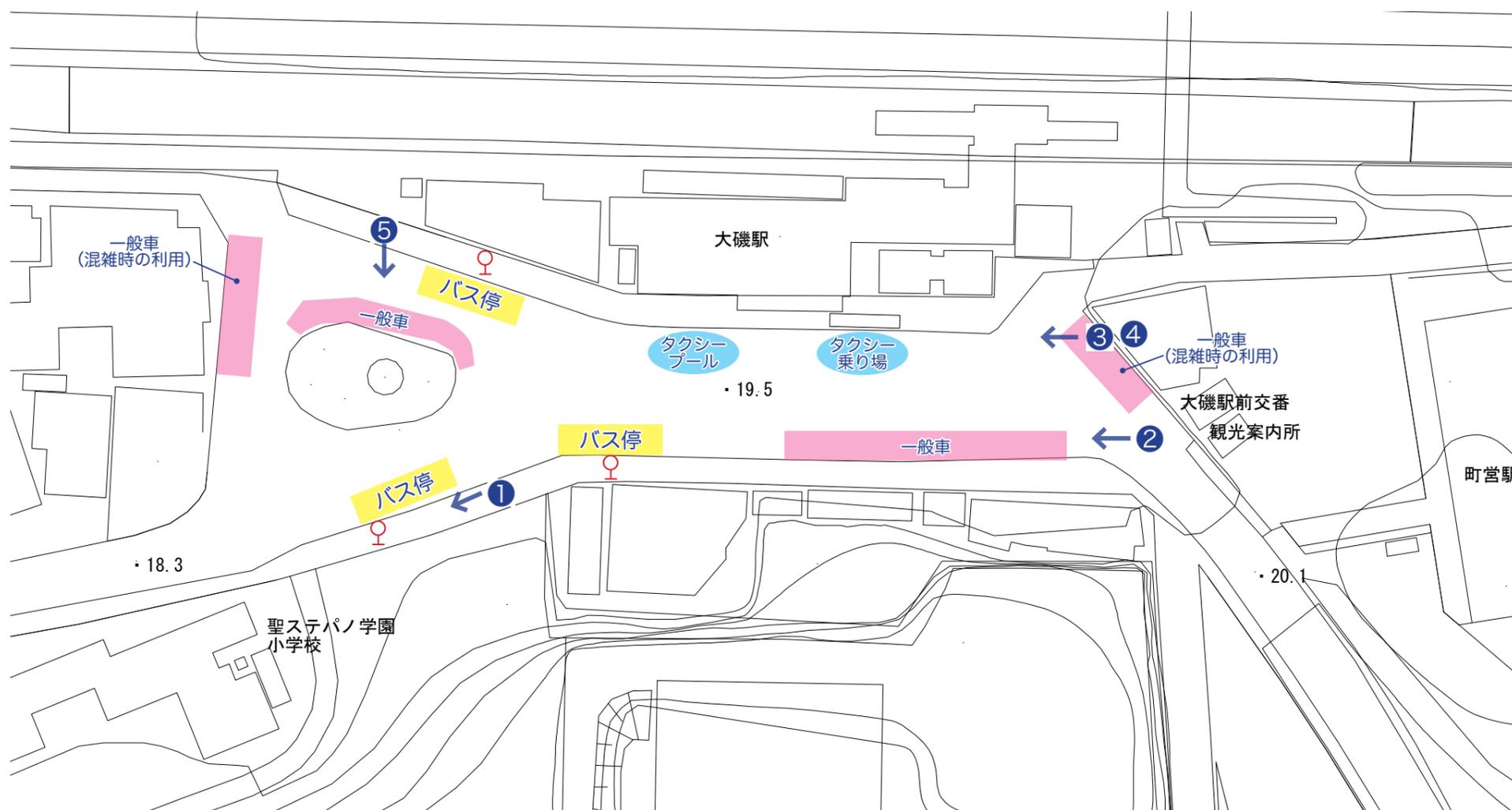
駅前広場の交通規制及び主なゾーニングを示す。

- ・駅前広場全域で駐車禁止である。
- ・駅前広場への接続は国道への主要動線である県道大磯停車場線と幹線 12 号線以外は条件付きの一方通行となっている。
- ・西側ロータリーは時計回りの一方通行となっている（ロータリーの南側は交互通行）。



2-2-3. 交通利用状況

- ・駅前広場の交通利用状況（バス、タクシー、一般車）を示す。
- ・広場スペースが狭く、混雑時には各交通が交錯している。
- ・バス・タクシーの停車場所の指定はあるが、一般車の停車場所は設けられていない。



⑤ ロータリー付近での乗降の様子



④ 広場内を通行する自転車と横断歩道を通行する歩行者



① 二宮駅方面行きバス停の様子



② 送迎待ちをする一般車



③ タクシー乗車場とタクシープールの様子

2-2-4. 施設状況

駅前広場の主な施設設置状況を整理した。



駅前広場の照明灯



① 駅舎前に設置されているベンチ、ポスト、自動販売機



② タクシー乗り場、ベンチ



③ 荷物受取ロッカーと公衆電話



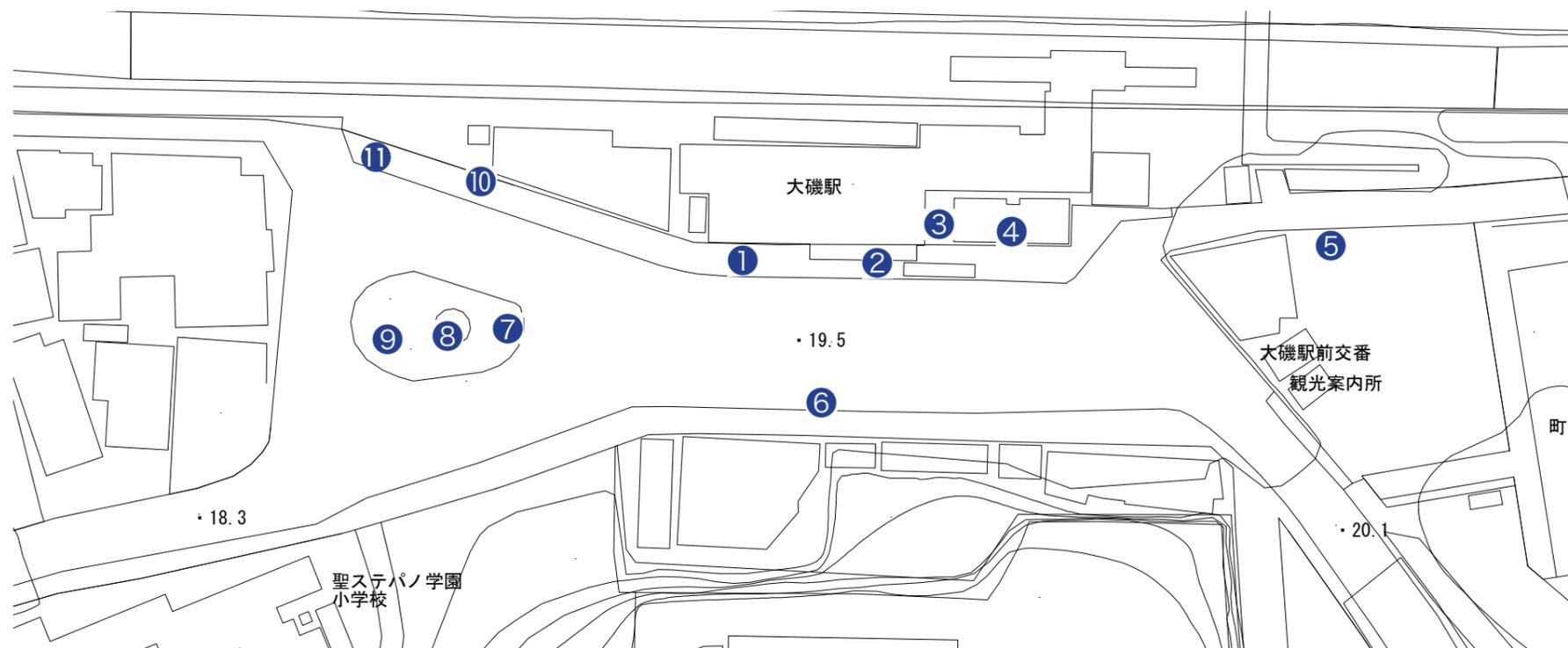
④ 公衆トイレ、案内サイン



⑪ 老朽化したベンチ



⑩ 石碑の説明板と自転車等放置禁止サイン



⑤ 地域防災スピーカー



⑨ ロータリー内の石碑
(左：湘南発祥の碑、右：避暑地記念碑)



⑧ ロータリー内の池



⑦ ロータリーの植栽とモニュメント



⑥ 通報装置



南側歩道

2-3. 駅前広场景観の現況

2-3-1. 駅前広場の特徴的な景観（建物ファサード、施設、緑等）

- ・駅舎や大磯駅前洋館（旧木下家別邸）など、ファサードの特徴的な建物が点在する。
- ・南北を丘陵に挟まれた緑に覆われた特徴的な景観となっている。



① 駅舎のファサード、赤茶の屋根が特徴的で大正時代の面影を残している（大正12年に建築）



② 駅前広場南側の緑のボリューム



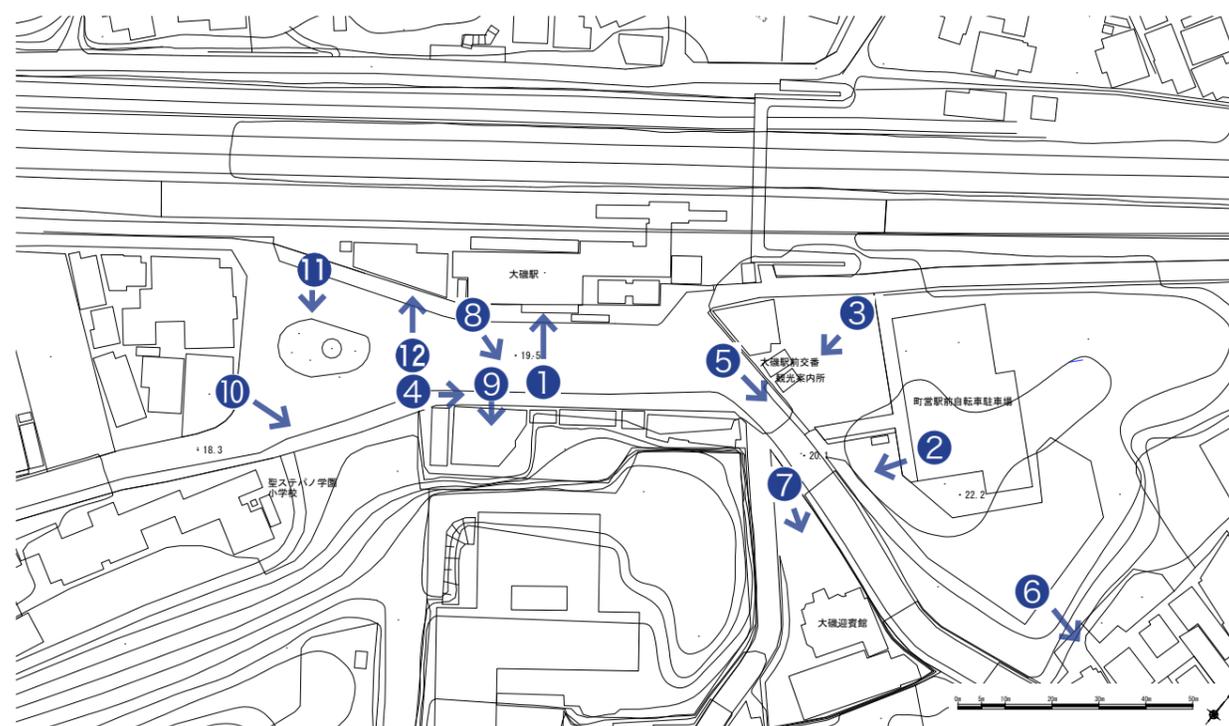
③ 町営自転車駐車場跡地から望む大磯駅前洋館（旧木下家別邸）



④ 歩道に並ぶ電柱



⑫ 北側の背後から駅舎を覆うような緑のボリューム



⑤ 東側国道方向に設置されたアーケード「Oiso Beach - 湘南発祥の地 大磯海水浴場へようこそ-」



⑪ ロータリーの植栽



⑥ 空き地からのながめ町並み越しに海を望むことができる



⑩ 駅前広場西側を覆う緑のボリューム



⑨ 大磯駅正面のカフェ等のファサード



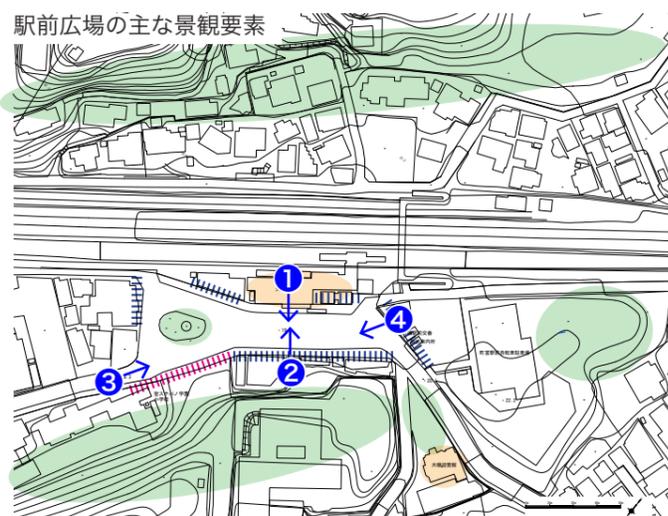
⑧ 大磯駅の正面に立ち並ぶ商業ビルファサード



⑦ 国登録有形文化財に登録されている大磯駅前洋館（旧木下家別邸）

2-3-2. 駅前広場の景観整理

大磯駅前広場は、南北の丘陵の緑の存在感と、駅舎の歴史的な建築物などにより、別荘保養地のイメージを残している。



写真① 建物ファサードを阻害する電柱と電線 駅舎を出た正面の店舗や丘陵の緑 ロータリーのケヤキの大木



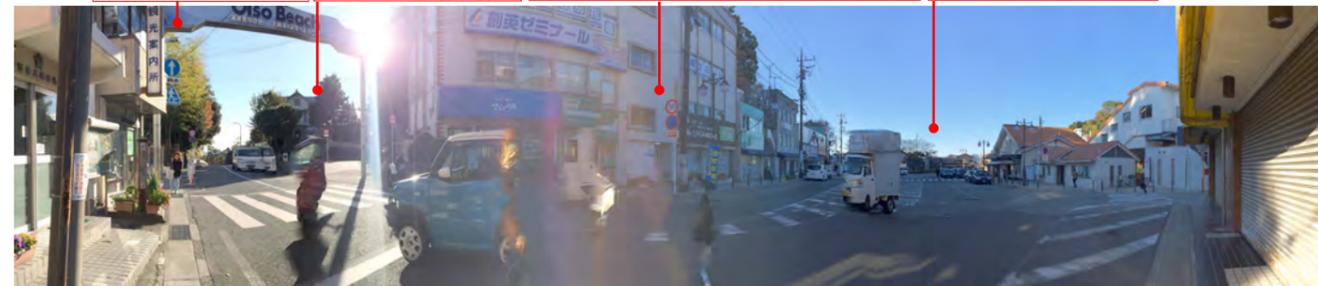
写真② 丘陵の緑 オレンジ色の屋根が特徴的な駅舎 趣のある照明灯や柵



写真③ 北側丘陵の緑 ロータリーの緑 東側緑地の緑 石積み、照明灯や柵などセットとなり趣がある 丘陵の緑



写真④ 海水浴場へのゲート 大磯駅前洋館と緑地 駅前広場を挟んで統一感のない建物群 ロータリーのケヤキ



緑

<特徴>

- ・大磯駅は南北の丘陵の緑を背景として、緑豊かな自然的景観が特徴である。

<改善点>

- ・ロータリーの島に植栽されている樹木が大きくなり、視線を妨げている。車や人の通行状況やバス停留所の位置など、安全上の見通しの確保も必要である。



施設

<特徴>

- 町の歴史を感じさせる施設
- ・駅舎に合わせたクラシックな印象の照明灯や柵
- ・海水浴場案内ゲート
- ・町政 100 周年記念モニュメント「大樹」

<改善点>

- ・照明灯や柵、ゲートは道路形状の変更による位置変更に伴い更新する。
- ・南側歩道の電柱は景観を阻害しているとともに歩道の有効幅員を狭めているため、地中化の協議を進める。



建物

<特徴>

- ・関東の駅 100 選の 1 つである駅舎、歴史的建築物登録されている大磯駅前洋館など、駅前に歴史的資源がある。

<改善点>

- ・商店など建物ファサードや看板などに統一感を持たせて、駅前広場としての一体感の形成が望まれる。



2-4. 旧駐輪場跡地の現況

- ・町有地の旧駐輪場跡地（現観光案内状用地を含む）は約 400㎡である。



駐輪場屋上からの様子



砕石が敷かれ、一般開放されている



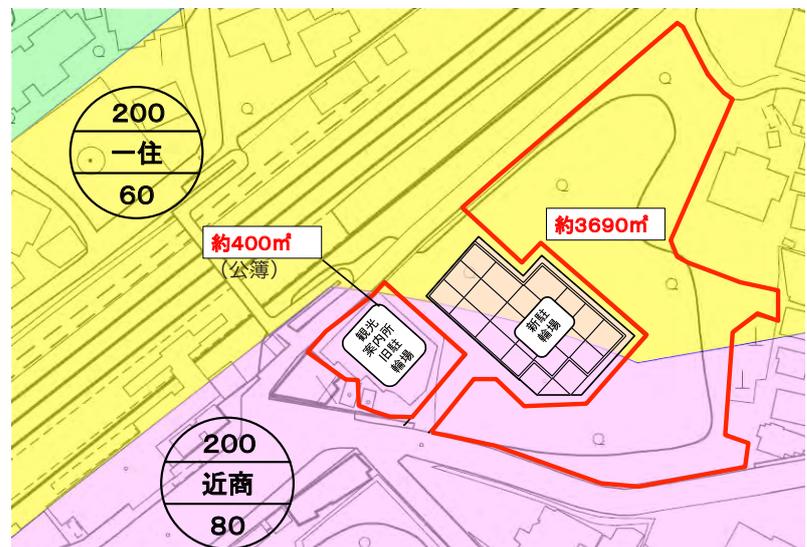
旧駐輪場跡地から大磯駅前洋館（旧木下別邸）を望める



駐輪場通路からの様子

旧駐輪場跡地の面積等

用途地域	近隣商業地域
敷地面積	約 400㎡（観光案内状用地を含む公簿面積）
建ぺい率	80%
容積率	200%
高度地区	最高限第 2 種 建築物の高さ制限 15 m
防火地域	準防火地域
土地所有者	大磯町



用途地域図

2-5. 駅前広場と周辺交差点の交通量調査結果

平日及び休日に交通量調査を実施し、一部調査項目については、追加調査を行った。

以下に調査内容及び調査結果概要を示す。

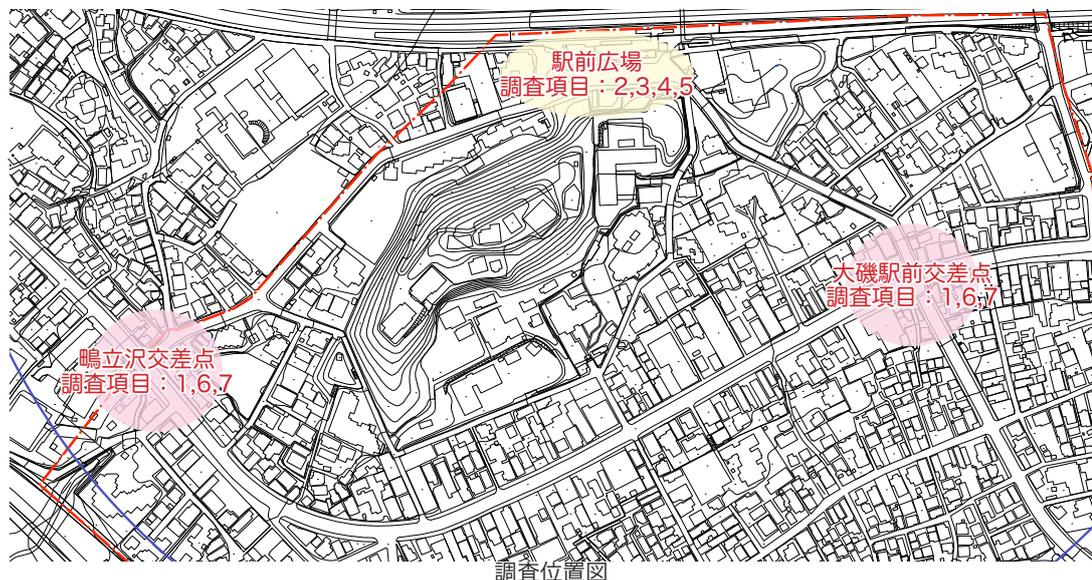
【交通量調査の内容】

調査日： 第1回 8月26日（土）、9月5日（火） 両日共晴天

第2回（追加調査） 10月25日（水）、10月28日（土） 両日共雨天

調査内容：

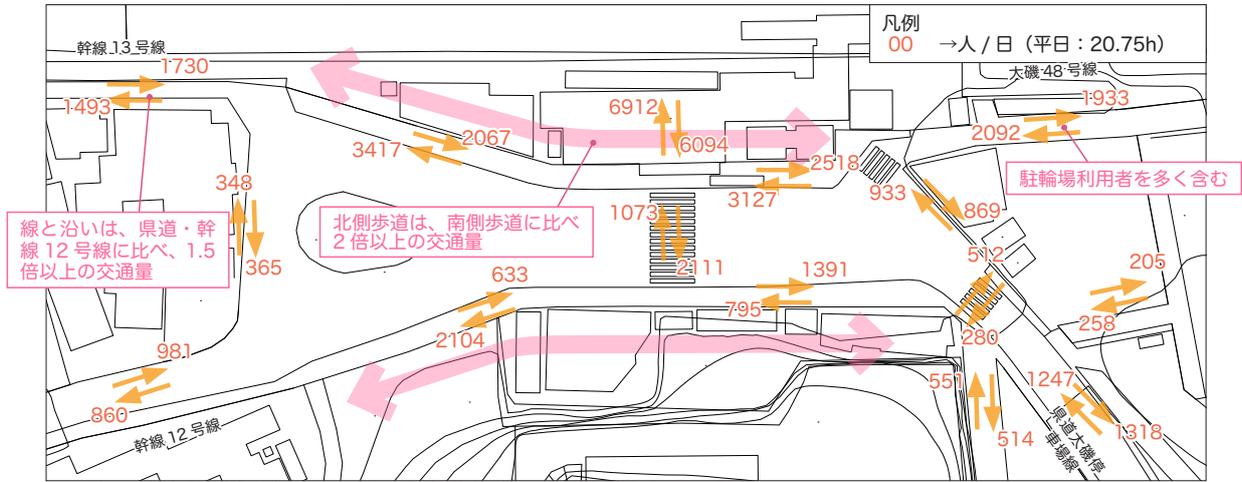
調査項目	調査日		調査時間	第1回調査の不整合箇所
	第1回調査	第2回調査		
1 自動車方向別交通量調査 (交差点)	(○)	○	6:00～21:00	一部、調査数値に大きな漏れが確認できたため追加調査を行った。
2 自動車方向別交通量調査 (駅前広場)	(○)	○	第1回 6:00～21:00 第2回 4:30～25:15	一部、調査数値に大きな漏れが確認できたため追加調査を行った。
3 車両滞留状況調査 (駅前広場)	(○)	○	4:30～25:15	第1回調査にて不整合箇所はないが方向別交通量調査と乗降調査との整合を確認するために追加調査を行った。
4 歩行者自転車方向別交通量調査 (駅前広場)	○	-	4:30～25:15	-
2 自動車乗降調査 (駅前広場)	(○)	○	4:30～25:15	車両の動きが多岐にわたり、調査漏れが多いため、追加調査を行った。
5 通過交通調査 (駅前広場)	-	○	4:30～25:15	-
6 信号現示調査 (交差点)	○	-	-	-
7 車線幅員調査 (交差点)	○	-	-	-



調査位置図

■歩行者交通量

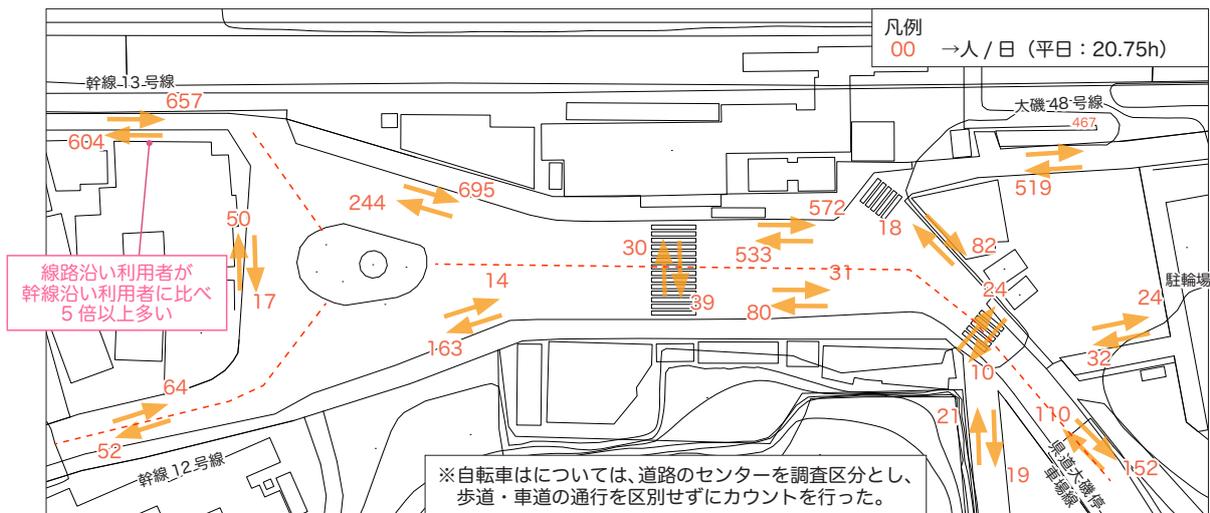
- 線路沿いの幹線 13 号線、大磯 48 号線は、歩行者の主動線となっており、幹線 12 号線、県道大磯停車場線の 1.5 倍以上の交通量。



※図中の数値は、断面交通量ではなく各分岐点の流入の交通量を示している。

■自転車交通量

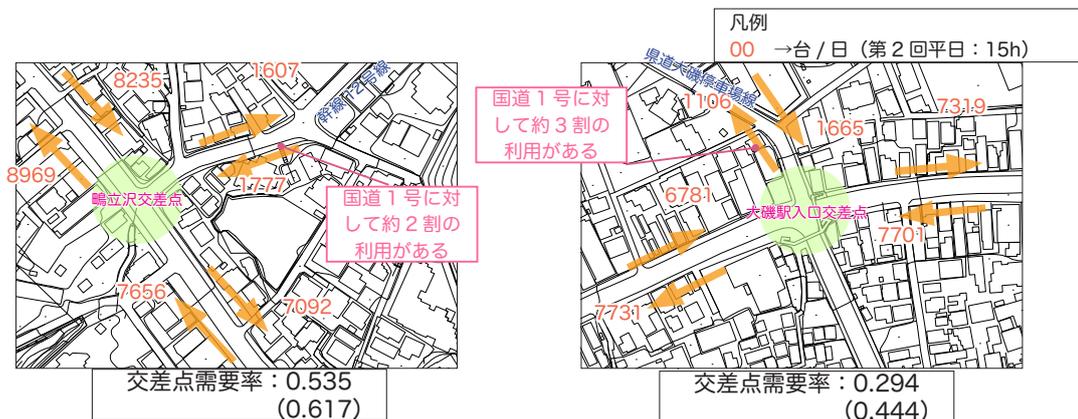
- 線路沿いの幹線 13 号線、大磯 48 号線は、幹線 12 号線、県道大磯停車場線の 5 倍以上の交通量。
- 駅前広場内では、自転車のほとんどが車道を走行している。広場内を斜めに横断したり、道路を逆走して走る自転車も見られる。



※図中の数値は、断面交通量ではなく各分岐点の流入の交通量を示している。

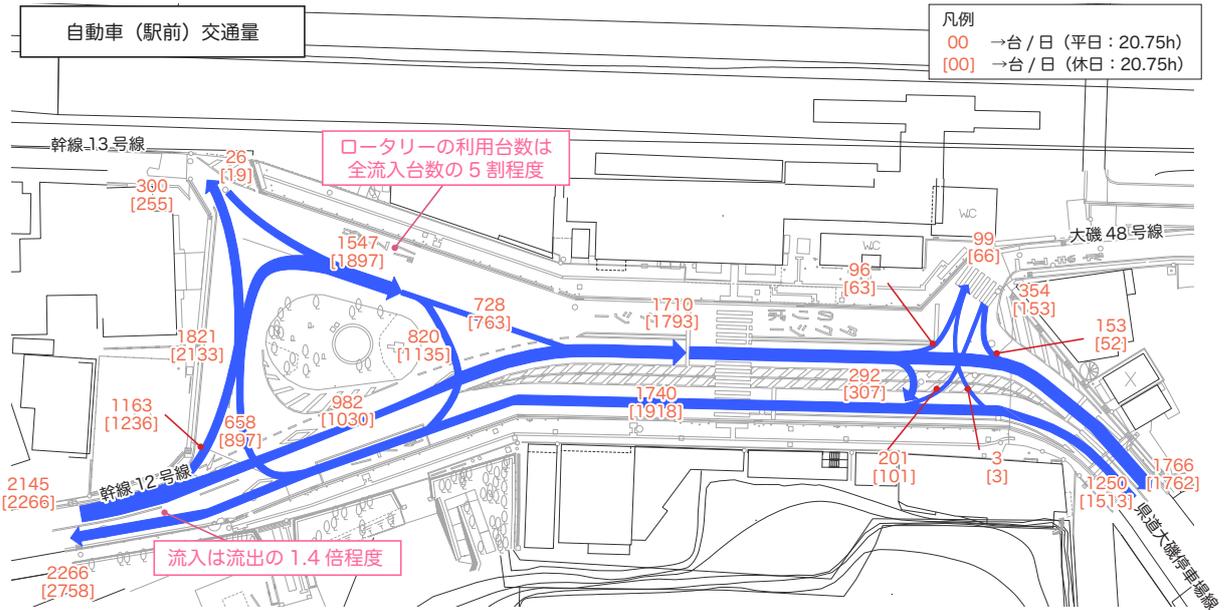
■自動車交通量（交差点部）

- 第 1 回、第 2 回調査共に、嶋立沢交差点、大磯駅入口交差点の交差点需要率は 0.9 以下となり、現状の交通処理上問題はない。



■自動車交通量（駅前広場）

- 駅前広場への流入は、県道大磯停車場線よりも、幹線12号線からのほうが1.7倍程多くなっている。



■車両滞留状況・自動車乗降調査（最も交通量の多かった10/25平日について）

【一般車】

- 平日は6:00～8:00の出勤通学時間帯、夕方の帰宅・終電の時間帯に駐停車台数が集中しており、6～8時で200～300台/時、18～20時で130～150台/時確認できた。また、その9割以上が送迎目的である。
- 最大滞留台数は、平日で、15時台と19時台に最大8台の滞留が見られる。

【タクシー】

- タクシーの発着台数は、平日では出勤時間帯の10時台、帰宅時の18時台、終電の24時台で多く、1時間毎に平均15台が発着している。
- 最大滞留台数は、平日で22～23時台に最大9台の滞留が見られる。
- 平均乗車人数が1.0を下回っている時間帯が9割を占め、空車で発車する車両が多く見られる。

【バス】

- 平日は各バス乗り場で、帰宅時の18時～19時台の平均乗車人数が最大22.5人となっている。
- 休日は、平日に比べ午前中に乗車人数が最大となっている。

■通過交通量

駅前広場での通過交通の総台数は1015台である。駅前広場に流入する台数の約3割を占める。

自動車駅前広場全流入台数	3,775台/日 ^{※3}
自動車駐停車（滞留）台数	2,377台/日 ^{※3}
自動車通過利用台数	1,015台/日 ^{※3}

（最も交通量の多かった10月25日（平日）調査値）

※3 各調査毎の調査値のため、誤差あり

二宮方面へ通過する車両は、11時台に最大42台である。一方平塚方面へ通過する車両は、9時台で最大71台となっている。

※詳細については、「6. 参考資料」を参照

2-6. 駅前広場に関する利用者・町民意向調査結果

**大磯駅前広場の利用等に関するアンケート調査
～結果概要～**

1. 調査方法概要

- 調査方法：①町民無作為抽出調査（H29.4.1時点 15歳以上） アンケート用紙郵送配布・郵送回収
②駅前広場利用者調査 アンケート用紙街頭配布・郵送回収
- 実施時期：①平成29年10月10日郵便発送、②平成29年10月10日駅前街頭配布
- 配布数：①999通（1,000名送付、1名不達）、②500通
- 回収票数：①402票、②230票 <合計>632票（平成29年11月1日時点）

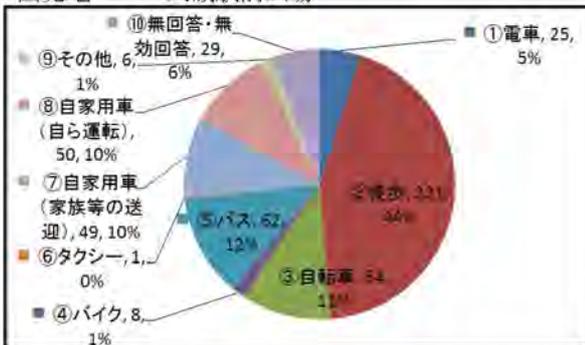
2. 調査結果概要（①町民無作為抽出調査、②駅前広場利用者調査の合算値）

問6 町民無作為抽出は、「1.週5回以上」、「2.週に数回程度」、「3.月に数回程度」で訪れる方に伺います。

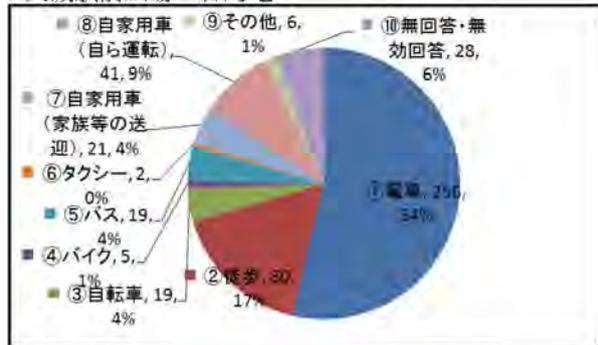
駅前広場利用者は、全員に伺います。大磯駅前広場を訪れる際の、出発地から大磯駅前広場まで、及び大磯駅前広場から目的地までの主な交通手段を教えてください。（それぞれ1つに○）

※大磯駅前広場周辺が目的地の場合は、「出発地→大磯駅前周辺」だけを回答してください。

出発地 → 大磯駅前広場

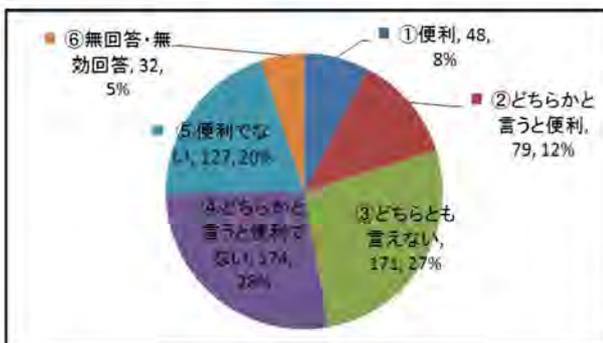


大磯駅前広場→目的地



大磯駅前までの交通手段は、多い方から順に徒歩、バス、自転車、自家用車（家族等送迎）・自家用車（自ら運転）でした。駅からの交通手段では、電車に乗って町外に出かける方が54%で過半数を占めています。

問8 全員に伺います。現在の大磯駅周辺は便利だと思いますか？（1つに○）



便利でない又はどちらかと言うと便利でないという方が48%で圧倒的に多く約半数を占めているのに対し、便利又はどちらかと言うと便利のという方は20%のみでした。どちらとも言えないという方は27%でした。

※詳細については、「資料編 -1. 町民アンケート調査結果」を参照

問9 全員に伺います。大磯駅周辺の利便性向上のため、どのような整備、まちづくりを望みますか？（3つまで○）



③送迎用一般車の乗降場の整備や②雨・陽射し除けの屋根設置といった駅前広場の利便性の向上を望む意見や、④クルマ等や自転車の通行位置の明確化や①歩行空間、待合せ空間の確保といった交通安全対策を望む意見が多い結果となりました。また、⑤物販・飲食・サービス等の店舗の充実といった生活利便性の向上を望む意見も多く見られました。

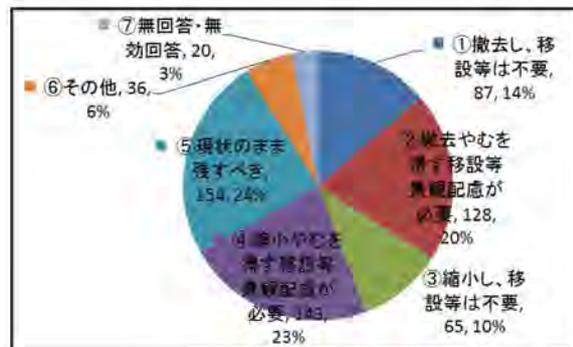
<主なその他意見>

- ・カフェ ・喫茶店（お茶やアルコール） ・一般車が多い。送迎の乗降、買物のための駐車スペース
- ・喫煙所が欲しい、禁煙にして欲しい ・大磯らしさ、魅力を残す。駅周辺の樹木を残す。
- ・予算をかけずに。

問10 全員に伺います。大磯駅前広場は狭いので、広場の利便性向上を目的として一般車（送迎用）乗降場等を整備するため、駅前広場西側のロータリー（緑地）部分（裏面写真を参照）を縮小又は撤去するとしたら、どのように考えますか？（1つに○）



（駅前広場西側のロータリー（緑地）部分）



利便性のため、ロータリーの撤去又は縮小はやむを得ないという意見が合計で67%となり、現状のまま残すという意見の24%を大きく上回った。ただし、撤去も縮小も、移設するなど景観への配慮が必要と答えた人が移設不要と答えた人の約2倍程度いることから、移設等による景観配慮への希望が高いことがうかがえます。

<主なその他意見>

- ・ロータリー機能は必要。混乱が少なくなる。スピード抑制になる。 ・ロータリーは残したまま一般車乗降場等の整備。
- ・大磯らしさを残すため撤去、縮小を望まない（駅前の景観、シンボル）。

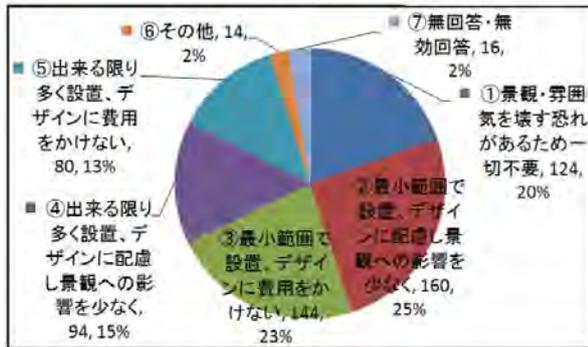
問11 全員に伺います。大磯駅前広場内の利便性向上を目的として雨や陽射し除けの屋根を設置することについて、どのように考えますか？（1つに○）



二宮駅北口
バス停屋根



湯河原駅前
バス停歩道屋根

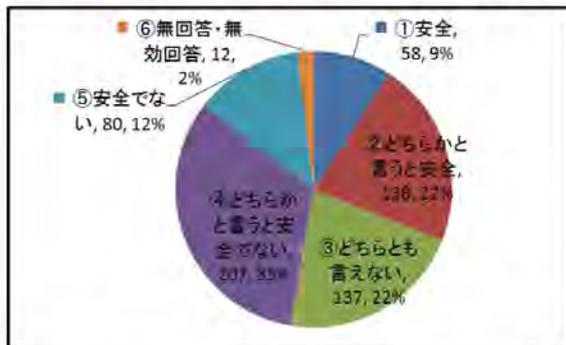


雨や陽射し除けの屋根の設置について、最小限の範囲で設置という意見が合計 48%と約半数を占め、できる限り多く設置は合計 28%、一切不要は 20%でした。また、設置を望む意見のうち、デザイン費用について、費用をかけるがかけないを若干上回りました。

＜主なその他意見＞

- ・最小限の範囲に設置し、高価でなくてもデザインに配慮。
- ・個性的な駅舎に合った屋根
- ・バス停に屋根が無いのは不親切。
- ・現状のまま。

問 12 全員に伺います。現在の大磯駅前広場は安全だと思いますか？（1つに○）



大磯駅前広場を安全でない又はどちらかと言うと安全でないが 45%で、安全である又はどちらかと言うと安全であるの 31%を上回りました。また、どちらとも言えないは 22%でした。

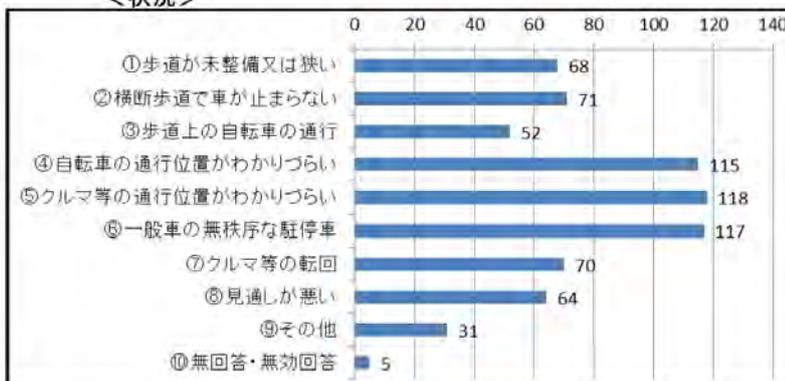
＜主なその他意見＞

- ・歩道、横断歩道の設置
- ・自転車の一方通行の逆走防止
- ・照明が暗い
- ・タクシーの駐車台数が多い
- ・県道の坂が急で歩道が狭いため危険
- ・町道 13 号の舗装の凹凸

問 13 問 12 で、「4. どちらかと言うと安全でない」、「5. 安全でない」と答えた方に伺います。

どのような状況が安全ではないと思いますか？また、その場所はどこですか？＜状況＞の選択肢の番号を＜地図＞の図面上に記載願います。（3つまで回答）

＜状況＞



自転車の通行位置がわかりづらい、クルマ等の通行位置がわかりづらい、一般車の無秩序な駐停車が危険であるという意見が、ほぼ同数で他の意見に比べ圧倒的に多かったです。自転車やクルマの動線と、バス停、タクシー停車場等施設の配置が錯綜しているという現状を、危険と感じている人が多いと思われます。

問 15 全員に伺います。旧大磯駅前東駐輪場跡地付近（右図参照）は歩道整備等の安全対策とともに、どのような整備を望みますか？（3つまで○）



旧駐輪場跡地に望まれる施設は、飲食などの商業施設、次いで待合せ目印やベンチ等の整備であり、駅前であちよつと休める場が欲しいという意見が表れていると思われます。また、現状の大磯駅周辺が不便であるとの意見が多いため物販などの商業施設を望む意見も多くありました。

＜主なその他意見＞

- ・公園緑地・少し休める場所 ・カフェ、飲食店 ・保育所、子供の一時預かり、子育て支援施設
- ・自動車の駐車場（短時間含む） ・観光案内所、交番、民間ビルと一体的な整備。再開発。 ・情報発信交流拠点

問 16 全員に伺います。大磯駅周辺のまちづくりや駅前広場等の整備に関するご意見・ご要望があれば、記入してください。

＜主なその他意見＞

（安全安心、防災）

- ・県道の拡幅、歩道拡幅（片側歩道）、一方通行化（町道大磯 48 号や町道幹線 12 号を含め）
- ・クルマ等、自転車の空間の明確化。表示。 ・歩道拡幅 ・送迎用の駐車スペース。駐車場。
- ・駅前前に人がたくさん溜まっている。 ・ロータリー周辺の一般車の無秩序な駐車

（大磯らしい魅力的で個性的）

- ・緑が目に入る景観を大切に。 ・駅前広場周辺店舗のバラバラな景観の一体化
- ・雰囲気、景観は壊さない（避暑地イメージ、レトロ、広告がない、緑、のどか、ホッとできる、のどか、ゆったりした、落ち着く、昔ながら、文化が香る、湘南発祥の地等） ・町の観光資源を集約発信する場がない

（交流と子育て世代の定住）

- ・バスなどの交通がより利用される工夫。 ・休憩や飲食できるスペース。 ・駅近くに子供を預けられる施設は必須。 ・授乳室やおむつ交換スペース。 ・買い物できる店舗

（その他）

- ・整備にお金をかけない。 ・町歩きする人が多すぎる。 ・広場の面積が狭すぎる。盛りだくさんにできない。
- ・待合せ・たまり場が欲しい。 ・障害福祉関係を充実した施設。 ・チェーン店などありきたりな駅になって欲しくない。 ・駅前のトイレが少ない、汚い。

